

11月30日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、エル・メルクリオ紙のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、チリ国の政府関係者、知識層およびチリ国民への情報発信を強化するためのものです。

プレス一行は、チリ南部第8州のタルカウアノ市を訪れ、[SATREPS*：「津波に強い地域作り技術の向上に関する研究」](#)の視察を行いました。

*SATREPSとは地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムの略称です

我が国とチリは地震兄弟国と呼ばれており、防災協力が二国間関係での戦略的優先事項の一つとなっています。2010年にはチリ南部で、2011年には東日本で、それぞれ大震災が発生し、これをきっかけに過去の震災経験を将来への減災に活かすために SATREPS が実施されております。また、今年度からは、広く中南米で防災分野での専門家を育成するために、[技術協力プロジェクト「中南米防災人材育成拠点化支援：通称：KIZUNA プロジェクト」](#)が開始され、10月13日のキックオフセミナーにはバチエレ大統領とムニョス外務大臣も出席されました。

今回のプレスツアーでは、2010年のチリ地震で大きな被害を受けたタルカウアノ市を訪問しました。タルカウアノ市役所では、大使館および JICA から我が国の防災協力の概要について説明し、また、チリ出張中の富田専門家から SATREPS の成果説明が行われました。またタルカウアノ湾の復興状況についてタルカウアノ市の防災担当職員から説明も行われました。サアベドラ・タルカウアノ市長は SATREPS に対する高い評価と我が国への感謝が表明され、地震・津波を通じた我が国とチリとの KIZUNA がプレス一向に伝えられました。

12月7日（月）のエル・メルクリオ紙では、我が国防災協力の取り組みが社会欄の第1面に大々的に取り上げられました。地震・津波への備えはチリでの国民的課題であるなか、チリで発行部数最大のエル・メルクリオ紙で我が国の防災協力が取り上げられることで、チリ国民の我が国への信頼が深まり、両国の KIZUNA もより固くなったと思われます。

関連リンク（外部サイト）

[プレスツアー後に掲載されたエル・メルクリオ紙記事：2015年12月7日付](#)

[（西語）Expertos de Japón y Chile modelan impacto de tsunami 2010 y daños en Talcahuano](#)

[（邦訳：「日本とチリの専門家が2010年の津波被害とタルカウアノ市の災害をモデル化」）](#)



タルカウアノ市役所防災情報
センターの概要説明



富田専門家からサアベド
ラ市長への結果報告



タルカウアノ市高台から
港湾の復興状況の説明